

第1回「ソーシャルイベント研究会」 レポート

■日 時 平成 25 年 9 月 4 日(水) 16:00~17:30

■会 場 日本イベント産業振興協会 会議室

■議 題

ソーシャルイベント研究会の趣旨説明

参加者のプレゼンテーション

今後の計画およびスケジュール



【参加者】

座長：小林政則（イベント支援ネットワーク代表）

井田和広（スカイランタン研究会）、石井崇（ミドルウッド）、内田なお子（昭栄プリント）

大根田利夫（ダーツ）、沖佳保里（コブタカンパニー）、加藤淑子（エンコーポレーション）

上代圭子（東京国際大学）、鈴木純子（日本リ・ファッション協会）、田中滋（DEN&A）

田畑伴和（似顔絵作家）、平山良一（日本ラベル）、政次哲夫・政次裕也（トーマス）

宮地克昌（東京観光専門学校）

〔事務局〕 小西功一、菊地浩之

■ソーシャルイベント研究会の趣旨説明（小林座長）

ここ5年間のイベント学会の研究大会での口頭発表の内容を見ても、ソーシャルイベントをテーマにしたものが増加している。この背景としては、①イベントを通じて世の中の課題解決を試みる動き、②SNS の発達、③自己実現、自己発信意欲の向上、④「絆」意識の拡大などの要因が後押しをしていると考えられる。

ソーシャルイベント研究会は、誰もがイベントを企画制作でき参加できる時代に「新しいビジネスの創造」を目的に立ち上げた研究会であり、個人法人会員を問わず、イベント学会の会員の保有しているコンテンツやサービス、ノウハウなどをイベント学会の会員間で共有し社会に流通させることが大きな目的である。

具体的には、インターネット上に「ショーケース」を設けて情報を共有し、リアルな会合で研究発表と商談、取引をする「イベント見本市」の2つを展開する。「ショーケース」は個々のビジネス情報をインターネット上に掲載して、会員はもちろん一般にも公開して広く自由に閲覧できるカタログ的な情報。「イベント見本市」は月1回のリアル開催で、会員間で研究成果の発表とビジネス情報の交流を図るものとする。

また、メンバーが登録したイベント企画やビジネス情報を研究会としてまとめて自治体や地域の経済団体、公共施設などに提案する「勝手にプロポーザル」の活動を計画している。

■参加者プレゼンテーション（当日到着順/1人5分）

1) 政次裕也・政次哲夫（トーマス）

つくば万博での飲食・物販を行う会社としてスタートし、現在では大阪天王寺動物園等の公共施設に店舗を出店している。

ビジネスのモットーは「思い出を持って帰って

いただく」こと。店舗運営の傍ら親子で養蜂を行い、蜂蜜事業も手掛けている。



2)井田和広（スカイランタン研究所）

タイ、台湾、中国、ポーランド、ルーマニア等の国で行われる幻想的なスカイランタンイベントを日本で普及させることを目的に調査研究を行っている。リスクの明確化ができれば日本でも不可能ではない。国内のイベント産業の活性化に寄与するためにも、スカイランタンイベントを実現したい。



3)石井崇（ミドルウッド）

昨年から中学校1・2年の保健体育授業でリズムダンスが必修となったこともあり、ホテル業とあわせてダンススタジオを運営している。スタジオ所属のメンバーがゲストとしてイベントに出演依頼を受けることも多く、特にキッズユニットは遠方からも声がかかることもある。会場の条件や人数に制限が少ないダンスイベントを地域の活性化に大いに活用してほしい。



4)田中滋（DEN&A）

ソーシャルイベントの意味を考えながら個別のテーマとしては①駐輪場の整備による街の活性化、②車道走行の徹底による交通教育、③自転車通勤の奨励による健康ムーブメントの活動を推進したい。また、まち歩きイベント研究会に参加して感じた「路地や隙間の価値の再発見」をテーマに、新しいコンテンツやイベントを創出したい。



5)内田なお子（昭栄プリント）

大阪の個人会員の山田重昭さんが実行委員として開催している「大阪ちゃん電バル」を参考に、東京での「公共交通+まちなかバル」の開催を進めたい。都電と荒川区をターゲットに山田さんとの共同研究を続けてモデルプランを作成し自治体や地域の経済団体に提言したい。



ーブレイクタイムー 小林座長「勝手にプロポーザル」の手法説明

皆さんが保有しているイベント実施例やイベントコンテンツを「勝手にプロポーザル」参加登録フォームに記入し、画像とともに事務局に提出していただきたい。まず9月9日までに登録されたものを、ソーシャルイベント研究会としてまとめて9月18日に恵比寿ガーデンプレイス関係者にプレゼンテーションを行う予定。

6)平山良一（日本ラベル）

ラベル印刷でスタートした会社だが、現在は各種印刷事業の他、イベント等で使用するノベルティなどの企画制作も行っている。また、車両のラッピングも得意分野であり、過去に都電の装飾も扱っている。この研究会の活動を通じて、イベント学会から新しいイベントとビジネスが創出されていくことを期待している。



7)宮地克昌（東京観光専門学校）

“「歴史の駅」のすすめ”を企画し、特定の時代にタイムトラベルをする歴史ツーリズムを提案している。昭和30年代の町や東京オリンピックの遺産を巡るプランなど、町に残る豊富な資産を活用するとともに、観光案内所や歴史博物館、郷土資料館の機能を発展させることで、様々な歴史を巡る旅を推進したい。



8)沖佳保里（コブタカンパニー）

Webの仕事が中心だが、今後はCI・VIデザイナーとして豊富な実績のある石川明氏の力をお借りして、イベント等で活用するマークやTシャツのビジネスを進めたい。テレビ局の番組企画に合わせたTシャツの製作なども視野にビジネスの幅を広げていきたい。



9)加藤淑子（エンコーポレーション）

暮らしの中で身近に使える伝統工芸品の普及に貢献し、日本の誇る技術や技を後世に残していきたい。物販や製作体験などを通じて、多くの人に魅力を知っていただきたい。またイベントのリスクマネジメントの一環として緊急時の応急手当のプログラムを普及させ、イベントに携わる皆さんや一般の人にも万一のトラブルや事故の際に対応できる知識と技術を身につけて欲しい。



10)田畑伴和（似顔絵作家）

おもに東京タワーで観光客の似顔絵を描いている。各国の似顔絵アーティストが腕を競う世界大会に参加して最高賞をいただいている。似顔絵のイベントを主催して有名人の似顔絵を活用したビジネスもぜひ展開したい。似顔絵に関するビジネスアイデアを色々持っているので、事業化に向けて研究してゆきたい。



11)大根田利夫（ダーツ）

印刷業が本業だが、「缶バッジ」にも力を入れている。缶バッジを発展させた「MY センヌキ」を商品化し、「MYセンヌキで飲む会」を立ち上げた。イベント学会の会員にもメンバーが増えている。特に田畑さんが描く似顔絵は人気が高いので、彼とのコラボレーションによるビジネスも企画したい。



12)鈴木純子（日本リ・ファッション協会）

家庭から回収した不要な衣類を素材にして、新たな服をデザイン・製作する「リ・ファッションコンテスト」を4年間主催してきた。東日本大震災復興支援のイベント会場に衣類の回収コーナーを設けたり被災地に喪服を送る活動なども行っている。このイベントのコンセプトを理解していただく賛同者も増えてきており今後も力を入れて進めていきたい。



13)上代圭子（東京国際大学）

本日は急遽参加できることになって駆けつけたが、今日皆さんのお話をうかがい非常に刺激になった。私も何か企画を提案できるように、研究テーマを決めて考えたい。



■今後の計画およびスケジュール（小林座長）

本日は、設立準備会の形で設立趣旨の説明と参加者の自己紹介を兼ねたプレゼンテーションを行ったが、次回から毎月1回定例で2時間程度の研究会を計画している。今日は1人5分をお願いしたが、30分程度の時間でご自身の実施・企画しているイベントの情報、アイデア等をプレゼンテーションしていただき、ソーシャルイベント研究会として蓄積して会員間で共有していきたい。

先程、恵比寿ガーデンプレイスへの「勝手にプロポーザル」の話をしたが、私の住んでいる荒川区の行政関係者とも話し合いをしており、「リ・ファッションコンテスト」や「都電と連携した地域イベント」のプロジェクトにも興味を持っていただいている。また札幌の施設が集客のアイデアが欲しいと言っているので、「勝手にプロポーザル」でイベント学会として何か提案ができればいいと思っている。

「勝手にプロポーザル」に登録していただくものは、イベントの形ではなくても、例えば大根田さんの缶バッジや平山さんの車両ラッピングなど、イベントに関連する個別のネタも大歓迎だ。本日は登録のフォーマットが間に合わなかったが、今後「ショーケース」の構築を推進してイベントコンテンツを流通させる「ネタメッセ」も実施したい。

なお「勝手にプロポーザル」に登録する画像などの著作権、肖像権については登録者ご自身で問題が生じないものを選んでいただきたい。今後の活動の推進に際しては幹事として加藤さん、沖さん、内田さん、政次さんに会員と事務局のつなぎ役をお願いしたい。

◎次回開催は9月17日(月)15:00～17:00 イベント産業振興協会会議室

イベント会員限定であらためて参加募集する予定。本日出席の会員はもちろん個人、法人を問わずソーシャルイベントを研究したい会員、イベントでビジネスを目指す会員、個別のイベントコンテンツをプロモートしたい会員はふるって参加されたい。

懇親会

半蔵門「さくら水産」にて11名が参加。会費は一人3000円でした。



以上